

# 学校新聞 芥川

## 「恋ダンス」で心通わせた高槻支援学校音楽交流会 和太鼓部顧問

12月19日(火)、高槻支援学校で音楽交流会が行われました。この交流会は年に数回、支援学校と近隣の高校との間で行われているもので、今回は支援学校中等部・高等部の生徒と本校の吹奏楽部、和太鼓部、ダンス部の他、三島高校弦楽部の参加で行われました。



まず、和太鼓部2年生部員たちが各クラスに分かれて昼食を一緒にとり、その後、体育館で、和太鼓部の演奏を皮切りに音楽交流会がスタートしました。そして、一番のクライマックスは吹奏楽部とダンス部のコラボで「恋ダンス」を披露した時でした。見ていた支援学校の生徒たちが、本校生徒の演奏と踊りに誘われて、いっしょに立ち上がって踊り出し、会場全体が一体となって笑顔と熱気につつまれました。演奏した吹奏楽部の生徒からは、「あまりの感動で演奏中に涙が出た。」との声も聞かれました。最後の支援学校ダンス同好会の発表にも大きな拍手が起こり、今回の音楽交流会は大成功のうち幕を閉じました。



支援学校生徒は15時にはスクールバスで下校するのですが、その時も本校生徒たちは、支援学校の生徒たちと笑顔で手を振り合って見送り、最後まで心の通い合う交流会となりました。

## 第2学年 主権者教育 第2学年 総合学習担当

今回、37期2年生は主権者教育の一環として、「高槻の防災を知る」というテーマで実施しました。

ここに至るまで37期生は修学旅行が東北になったこともあり、「東日本大震災」について学び、その中で人の強さや逞しさを、絆など多くの人間的な部分を学んできました。そして修学旅行で学んだことを学んだだけで終わらせず、防災・減災について、戸市にある「人と防災未来センター」に校外学習を行いました。ここでは、特撮で作られた映像があり、生徒たちは災害はいっ起ころかわからないものであり、自分達の身近にも震災の怖さは潜んでいることが実感できたと思います。



そして自分たちの「防災・減災を考える」ために、生徒たちは冬休みの間に自宅周辺のロードワークを行い、自身の災害リスクと、自助のためにどうすべきか、そして共助のためにどう行動するかを事前に考え、文章にしてまとめました。講演会当日には、各クラス代表者1名が文章化したロードワークを学年全体に発表を行い、それを受けて高槻市役所の危機管理室と下水河川企画課の2名の方に講演をしていただき、高槻の防災についてより理解を深めることができたと思います。

## ダンス部 活動報告 ダンス部顧問

1月5日に高槻現代劇場にて行われたダンスの大会「第11回MVD」のHIGH SCHOOLコンテスト部門で本校ダンス部が準優勝を果たしました。例年冬休みに行われる大会で、主に北摂の学校を中心に参加しています。



普段チームで活動している生徒達にとつてはHIGH SCHOOLコンテストは部員全員で1つの作品をおどる数少ない機会です。人数が多いため全員揃って練習することが難しく、普段関わりの少ない生徒同士のコミュニケーションが必要で苦労も多かったですが、それに協力的な人達のおかげで何とか形になり、このような賞をいただくことができました。努力を怠らないと結果はついてきません。この成果を励みにこれからもクラブ活動を頑張ってください。

## ビブリオバトル報告 総務部

11月12日(日)、大阪咲洲庁舎を会場に「第3回大阪府中高生ビブリオバトル大会」予選が行われました。中学生・高校生それぞれのグループに分かれ、各チームのチャンピオン(観戦者の投票によって選ばれた「読みたくなった本」第1位)が12月の決勝に出場できます。そして、各チームの準チャンピオンは、決勝戦に先立つ敗者復活戦で優勝すると決勝戦参加の権利を得られます。

本校2年生 さんは高校生第4グループに出場、「君との恋は、画面の中で」(半透明)を時事ネタも取り入れながら軽快に紹介して観戦者の共感を得て、準チャンピオンとなりました。本の紹介5分間に加え、観戦者から質問が飛んでくる質疑応答の2分間も緊張するものがありました。

## 第15回高校生が作るふれあい冬まつり 感動のフィナーレ 人権教育推進委員長

1月13日(土)、高槻市立障がい者福祉センター(ゆう・あいセンター)で「第15回高校生がつくるふれあい冬まつり」が開催されました。



このイベントは、地域の障がいのある人やその他多くの人々との交流を目的に、市内の府立高校5校と支援学校の生徒が中心になって企画しています。このイベントの企画は、実行委員長の(本校生徒会長)を中心に7月から実行委員会の各校の生徒たちで入念に話し合われてきました。そして、当日、本校校長の挨拶から始まった「冬まつり」は、1000人を越える過去最大の賑わいとなり、各階のイベント会場はどこも人が通れないほど混み合う状態でした。本校からは、生徒会執行部、吹奏楽部、軽音ロック部、ダンス部、和太鼓部、家庭科部、イラスト部、書道部が参加、そして、イベントも佳境に入ったとき、エレベーターが壊れ、4階まで荷物や車椅子の方を階段で昇降しなければならぬかもしれないという事態に陥りましたが、来場された方たちや参加している高校生たちが助け合い、事なきを得ました。最後には、エンディング曲「世界でひとつだけの花」をメイン会場に集まった人全員が歌うだけでなく、手話を披露します。今年はこちらで、このエンディングに向けて手話を練習している姿が見られ、満杯の会場いっぱい感動があふれかえりました。この様子は、1月15日にケーブルテレビのデイリーニュースで放映されます。また、産経新聞には週明けに掲載される予定です。